



## 喜(よろこび) 特集

管理者あいさつ

社会福祉法人 喜(よろこび) 管理者 高橋秀直



こんにちは、今年度4月より、つよし寮の敷地内にて通所のサービスを開始いたしました、生活介護サービス事業所喜(よろこび)でございます。よろしくお願いいたします。

利用者は、同法人グループホーム(以下GHと表現)つよしの家利用者17名の方々が、マイクロバス送迎にて通所されております。その方々は、30年4月に住まれています。活動が終わり、帰宅する際は、「また明日ね〜」「さようなら〜」と言葉を残してマイクロバスに乗り込んでいかれます。その姿に、我々職員も笑顔になれますし、支援者側が利用者に助けられているように感じられます。日々、いろいろな出来事がありますが、その日の利用者との出会いを全職員で共有し、意見を出し合い、日々の支援につながるような職員間の合議の場を大切にしております。

活動内容は、

①9時過ぎに到着されたら、荷物を所定の場所に置き、朝礼の場に集まり、全員そろった時点で、朝礼開始。

②朝礼では、週計画書を元に、本日の活動内容の確認作業を行います。

③そして、活動着に着替えます。

④その後、ラジオ体操、つよしの歌を歌い、谷口優太さんの号令の下「エイエイオー！」の掛け声とともに、それぞれの活動に分かれます。

⑤作業は、10時くらいから始まり、運玉づくり、粘土遊び、環境整備、創作活動(絵描き、貼りえ、塗り絵などなど)、おやつ購入、運動・・・、その日の体調や本人の希望も受け入れ、実行しています。

⑥お昼ご飯は、弁当を飲肥のたわらやさんをお願いしております。弁当は毎日取りに行っておりますが、弁当係の利用者と職員とペアになり、配達役を行っております。

お弁当の量や中身も工夫していただき、弁当係の利用者にお弁当屋さんの方も声をかけていただくなど、地域の皆様にも大切にさせていただいていることに感謝です。

※これも、つよし寮さんの長年のお付き合いの賜物だと感謝いたします。

⑦午後の活動は、13時~15時です。

⑧その後は、おやつを食べ、帰り支度を行います。その日の活動内容や情緒に左右され、帰宅時間が変わることがございますが、15時30分から16時に事業所から帰宅されています。

喜(よろこび)の名前は、初代つよし学園園長川越喜美子先生の一文字を使わせていただき、喜『よろこび』と呼ばせていただきました。川越家の想い、喜美子先生の想い、喜美子先生がいつも言われていた「この子らを世の光に」の実現に向けて、皆で考え続けていきたいと思っております。喜の利用者のよろこびの実現のために、職員・利用者、そしてつよし寮の方々と協力し、日々奮闘しながら、共に汗をかき、衝突し合い、大自然に足跡を残していきたいと思っております。

皆様、今後ともご支援・ご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。

遊びにお越しください。お待ちしております。



# 障がい福祉サービス事業 喜(よろこび)

生活介護

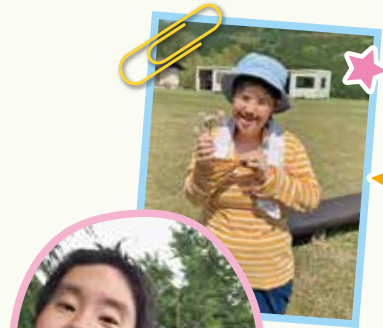
4月から、新規事業所として、開所いたしました 喜(よろこび)です。  
毎日、笑顔溢れる楽しい事業所として、利用者の方々と一緒に頑張っていきたいと思えます。

サービス管理責任者 **高橋 浩二**

## 喜(よろこび)のはじまり

### 4.1 喜(よろこび)が始まりました!

# 全員集合!!!



にっこり笑顔がステキ  
楽しく活動しています



お昼ご飯は、お弁当!  
皆さん楽しみにしています。  
初日のお弁当は、お店の  
粋なはからいで、お赤飯  
でした。



ピース☆

#### 令和元年度保護者会役員の方

会 長…高橋 俊三

今年度もよろしくお願ひします。

#### 今後の予定

- 4月…開所
- 7月…七夕
- 8月…そうめん流し
- 9月…成人施設球技大会

- 10月…つよし会合同運動会
- 12月…クリスマス会
- 1月…初詣